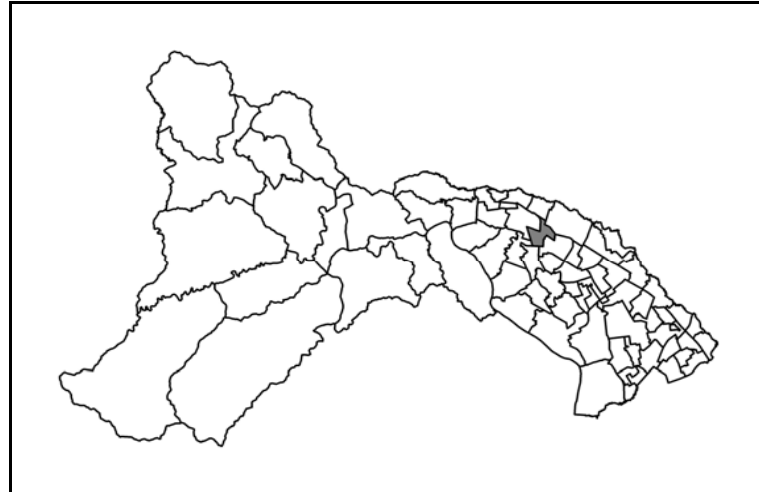


○地区を構成する町丁

【中央区】小山2丁目～4丁目、清新4丁目・5丁目、南橋本1丁目～3丁目

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

清新(自治会法人小原町, 自治会法人南橋本, サンヴェール橋本, 自治会法人小山二丁目, 清新4丁目)

○地区概況

台地(上段)に位置するほぼ平坦な小学校区。地区は、ほぼ中央を東西に通る国道16号により大きく北東部と南西部に分けられ、北東部は住宅地としての利用が多く、南西部は主に工業用地として利用されている。南西部は地区のほぼ中央をJR相模線が南北に通っており、地区内には南橋本駅が立地する。地区内には避難所が2か所、広域避難所が1か所存在するが、いずれも北東部に立地する。

○建物数・人口

建物		区分		建物(棟数)	
建物	木造(昭和55年以前)	444	棟		
	木造(昭和56年以降)	838	棟		
	非木造(昭和55年以前)	79	棟		
	非木造(昭和56年以降)	404	棟		
	合計	1,765	棟		
人口		区分		人口(人)	
人口	0～4歳	414	人		
	5～64歳	8,540	人		
	65歳以上	1,792	人		
	合計	10,746	人		

○所見

- ・避難所、広域避難場所が北部に偏在しており、南西部からの避難には国道16号やJR相模線を横断する必要がある。
- ・工場が立地する南西部は幅の広い道路が多いが、住宅の多い北東部は道路幅は比較的狭い。
- ・富士山の大規模噴火時には2～30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	小山小学校音楽練習室
警察署	
消防署	
消防団詰所	
病院等	中村医院, さかた整形外科
主な災害時要援護者施設	ストロベリーハイツ
幼稚園、保育園	たけの子保育園, たけの子第2保育園, 南橋本みたけ保育園, 第二ふたば園
学校、大学	小山中学校, 小山小学校
避難所 ※洪水時避難所兼用	小山小学校, 小山中学校
洪水時避難所	
広域避難場所	小山中学校・小山公園一帯
防災備蓄倉庫 ※広域避難場所対応	※小山中学校・小山公園一帯, 小山中学校, 小山小学校
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

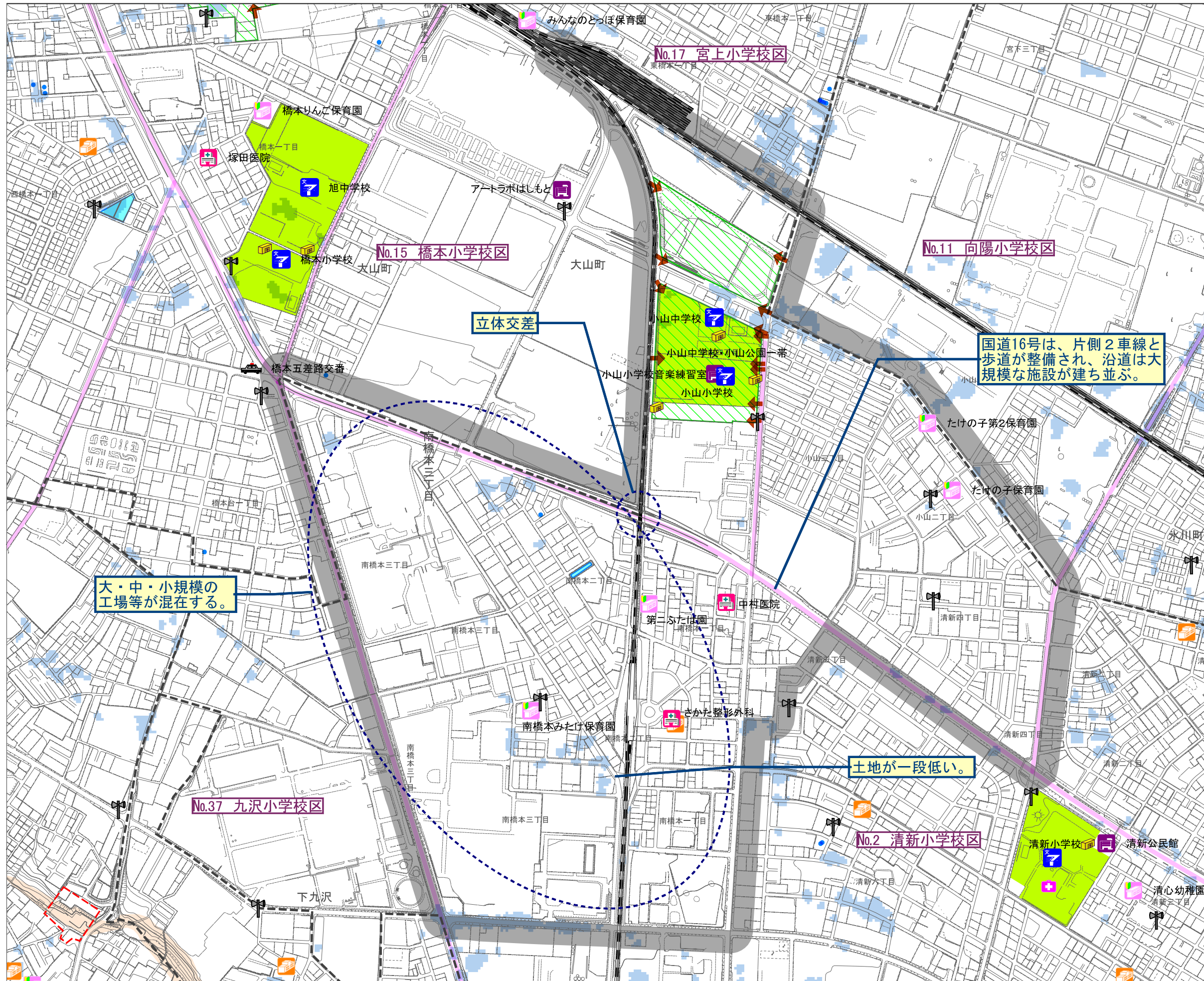
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	84棟	4.8%	50棟	2.8%	6棟	0.3%
建物焼失	8棟	0.4%	3棟	0.2%	0棟	0.0%
死者	5人	0.0%	3人	0.0%	0人	0.0%
閉込者	34人	0.3%	21人	0.2%	3人	0.0%
重傷者	6人	0.1%	4人	0.0%	1人	0.0%
軽傷者	38人	0.4%	30人	0.3%	10人	0.1%
避難所避難者(当日)	273人	2.5%	173人	1.6%	36人	0.3%
避難所避難者(1週間後)	942人	8.8%	794人	7.4%	373人	3.5%

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害	
地震による地盤災害	
地震による建物被害、火災	

○近年の主な災害履歴

平成10年 9月15日 床上浸水1戸



### 凡例

#### 防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

#### 地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

#### 災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

#### 災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

#### 書き込み欄


みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)

